

ARSIT
ASSOCIATION
FOR
RAINWATER STORAGE
AND
INFILTRATION
TECHNOLOGY

雨水貯留



公益社団法人 雨水貯留浸透技術協会

「うるおいのある都市」をめざして・・・ 期待される雨水貯留浸透技術

都市の急激な発展によって山林が切り拓かれ、地表が舗装されると
雨水が地中にしみ込むことなく一気に河川に流れ込みます。

このため、都市型の洪水が起こる反面、普段は河川の流量が少なく
水質が悪化し、地下水も涸れるなどの問題が生じます。

また、地下水の低下は渇水の危険を増し、緑地、街路樹などの潤いを失くし、
気温の上昇や地中の乾燥化などが生じて、都市の気候変化をもたらすのです。

雨水を貯留させる技術、雨水を地下に浸透させる技術は
このような諸問題の解決に極めて効果があり

水害防止だけでなく、人々の生活環境の向上にも有益です。

雨水貯留浸透技術は都市の水循環を改善し、都市に「うるおい」を
与える大切な技術として大きな期待が寄せられています。

当協会は、森林、田畑、未開発地等以外のすべての開発地について、
それぞれの施設毎に適切な貯留浸透施設が
設置されることをめざして活動しています。

定 款（抜粋）

目 的

第3条 この法人は、雨水を貯留浸透させるための技術（以下「雨水貯留浸透技術」という。）に関する調査、研究及び開発を行い、その成果の普及を図ることにより、治水、利水、環境のバランスに配慮した健全な水循環系の構築に貢献し、もって国土の保全と国民生活の向上に寄与することを目的とする。

事 業

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。
(1) 雨水貯留浸透技術に関する調査、研究及び開発
(2) 雨水貯留浸透技術を活用した施設に関する技術的基準の作成
(3) 雨水貯留浸透技術の評価
(4) 雨水貯留浸透技術を活用した施設の施工及び維持管理に携わる技術者の養成
(5) 雨水貯留浸透技術に関する図書の発刊及び資料の収集提供等の普及啓発活動
(6) 雨水貯留浸透技術に関する研究会、講習会等の開催
(7) 雨水貯留浸透技術に関する関係機関への協力、提言等
(8) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

沿 革

昭和 63年	8月 23日	建設大臣主幹 昭和61年度技術評価課題「浸透型流出抑制施設の開発」について、12社が「建設大臣技術評価書」を交付される。
平成 元年	11月 1日	上記12社により「雨水貯留浸透技術協会」発足
平成 2年	11月 17日	第1回「社団法人雨水貯留浸透技術協会設立準備会」開催
平成 3年	2月 12日	第2回「社団法人雨水貯留浸透技術協会設立準備会」開催
	3月 4日	社団法人設立総会
	4月 3日	「社団法人雨水貯留浸透技術協会」設立許可
平成 24年	8月 1日	公益社団法人へ移行

雨水貯留浸透技術について

雨水貯留浸透技術とは、雨水を一時的に貯めたり台地に浸透させて、河川への流出量を調整しようとするものです。

雨水貯留の方法としては、雨水が降った個々の場所で貯留するオンサイト型と、ある程度離れた場所で貯留するオフサイト型があります。オンサイト型には講演や学校などの公共施設を利用したり、集合住宅の棟間や、駐車場、各家庭の庭を利用した者などがありますが、小規模のものが多く、数多くの貯留施設が集まって大きな力を発揮します。オフサイト型では遊水地や調節池、道路下貯留など大規模な貯留が行われています。

雨水浸透の方法としては、敷地内では浸透地下トレンチ、浸透桧、浸透井、浸透池などがあり、道路では透水性舗装を行います。その他に地下水の涵養を目的とした雨水浸透も行われています。

雨水浸透技術は水害を防止する技術であると同時に、地域住民に愛される潤いのある生活空間の創出に寄与する技術でもあります。

調査研究

- ①都市河川流域の水循環再生構想の策定と河川整備計画への反映
- ②水循環、水環境の定量的評価
- ③社会のニーズに応える貯留浸透技術の開発
- ④技術基準等の作成、改訂

技術基準等の活用（出版物）

- ①雨水貯留浸透施設技術指針（案）調査・計画編
- ②雨水浸透施設技術指針（案）構造・施工・維持管理編
- ③エコロジカルポンド計画・設計の手引き
- ④流域貯留施設等技術指針（案）
- ⑤雨水利用ハンドブック
- ⑥戸建住宅における雨水貯留浸透施設設置マニュアル
- ⑦プラスチック製地下貯留浸透施設技術指針(案)
- ⑧コミュニティポンド整備事例集

協会の事業

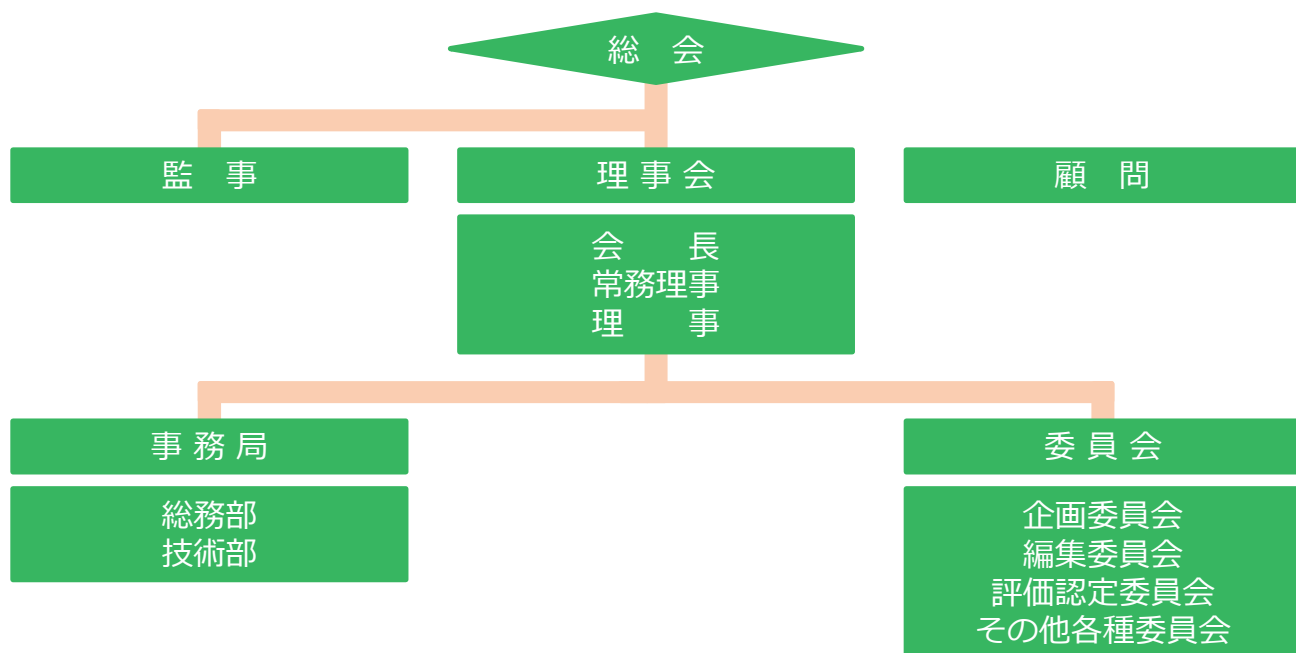
- ①事業所、住宅等への貯留浸透施設の普及
- ②技術ジャーナルの刊行
- ③出版
- ④講習会の実施
- ⑤補助制度、融資制度の普及等

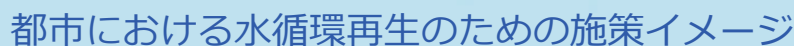
- ①工法に係る計画、設計、施工および管理に関する技術
- ②施設（機器・製品及び材料等）に係る品質及び性能

啓蒙・普及活動

評価・認定

組織図





流出抑制対策としての雨水貯留施設の例



エコロジカルポンド



コミュニティポンド



マンションの共有スペースを活用した遊水地



オフィス街の修景に配慮した調整池



校庭貯留（表面）

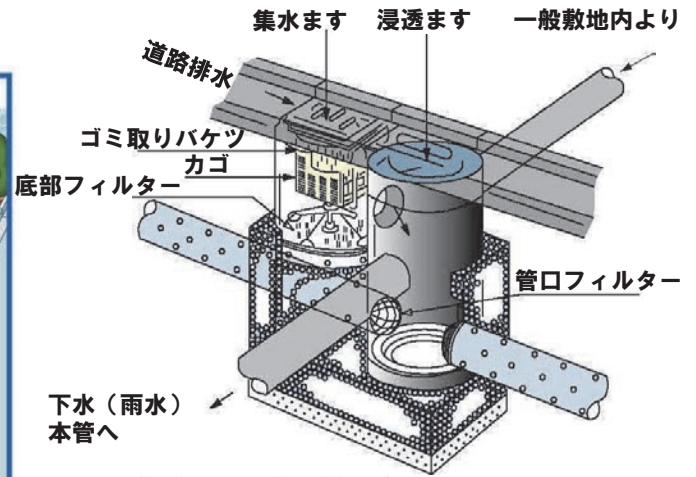


多目的調整池（テニスコート）

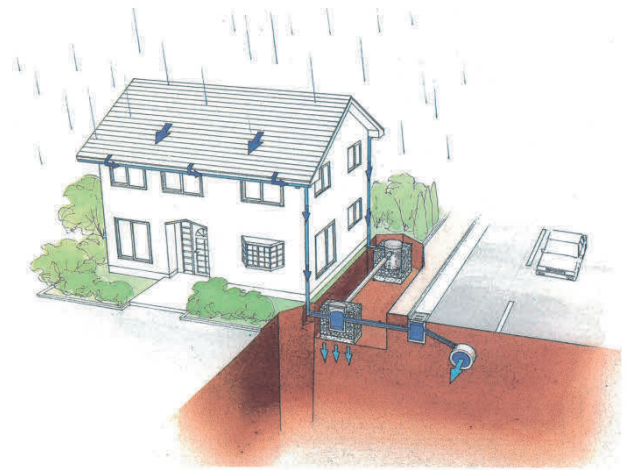


公園と一体となった調整池

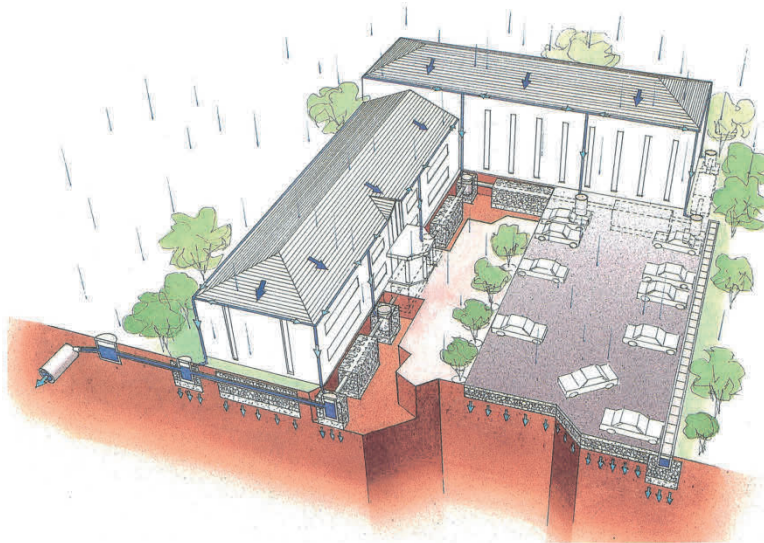
流出抑制対策としての雨水浸透施設の例



道路浸透枳の構造例



個人住宅
雨水浸透枳配置例



公共施設
雨水浸透枳、浸透トレンチ配置例



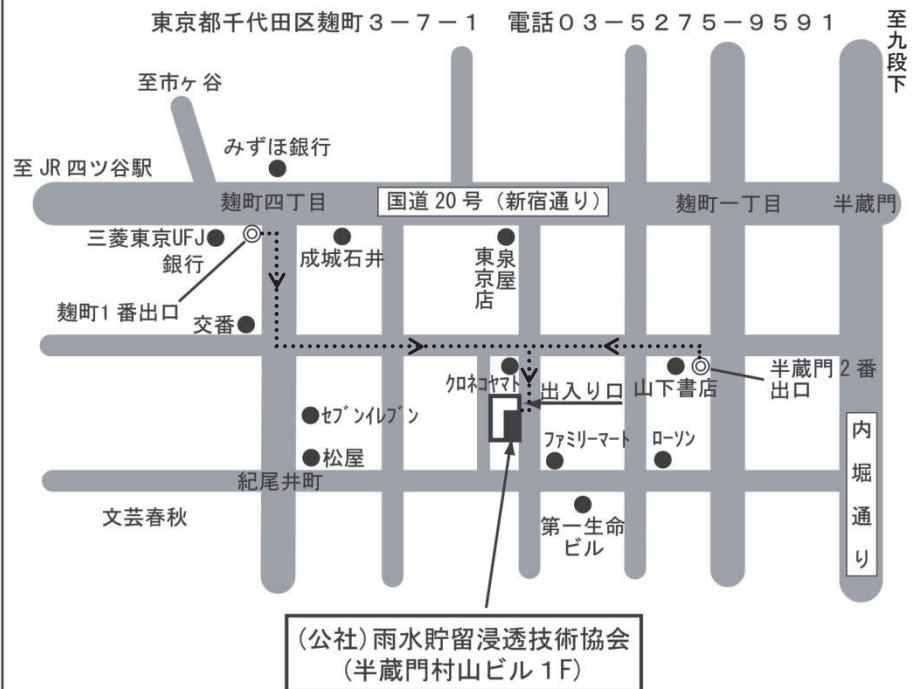
浸透トレンチの施工状況例



浸透枳の施工状況例

■ご案内図 (公社) 雨水貯留浸透技術協会

東京都千代田区麹町3-7-1 電話03-5275-9591



交通

- ・地下鉄有楽町線：麹町駅1番出口 (徒歩5分)
- ・地下鉄半蔵門線：半蔵門駅2番出口 (徒歩3分)



ARSIT 公益社団法人 雨水貯留浸透技術協会

〒102-0083 東京都千代田区麹町3丁目7番1号 (半蔵門村山ビル1階)

TEL: 03 (5275) 9591 (代) FAX: 03 (5275) 9594

ホームページ <http://arsit.or.jp/>

(H27.07)